

病害虫防除技術情報 第1号

富山県農林水産総合技術センター所長

斑点米カメムシ類の多発について

1 発生状況

- (1) 令和8年5月18～20日において、水稻病害虫発生予察定点調査ほ場周辺の畦畔・雑草地ですくい取りによる調査を実施したところ、確認地点率は80.0%（平年58.5%）で平年に比べ高く、捕獲頭数も14.4頭（平年5.28頭）と平成10年以降最も多く確認された昨年（令和7年）に次いで2番目に多かった（図）。
- (2) イネ科雑草が出穂している畦畔や雑草地では、斑点米カメムシ類の生息密度が高い傾向がみられた。

2 防除対策

- (1) 今後、気温が高いと予想されていることから、斑点米カメムシ類がさらに増殖するおそれがある。このため、畦畔や雑草地等ではイネ科雑草の穂が出穂しないように草刈りを徹底する。
- (2) アカスジカスミカメはノビエやホタルイの穂を好むので、水田内の除草に努める。
- (3) 大麦収穫後のほ場や管理が不十分な休耕田は、斑点米カメムシ類の繁殖好適地となるため、雑草が繁茂しないように管理するとともに、積極的に大豆や園芸作物、緑肥等を栽培する。

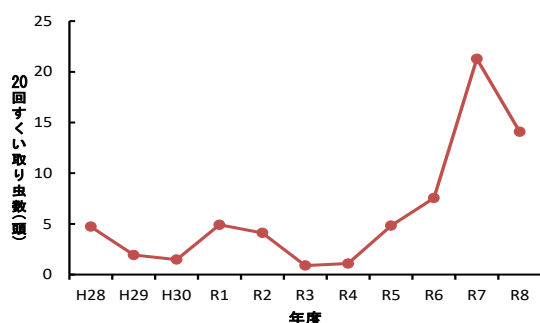


図 畦畔・雑草地における斑点米カメムシ類の年次推移



アカスジカスミカメ アカヒゲホリトリカスミカメ トゲシラホシカメムシ